

抗議声明

本日、四国電力は伊方原発3号機に燃料装填を開始した。MOX燃料もあり、いっそう危険である。広範な地域住民のいのちと安全を顧みず、熊本地震をも無視した暴挙である。

震度7が2回も続いたこと、熊本から大分にまで強い地震が広がったこと、家屋倒壊で「屋内退避」などできないことなど、重大な新たな知見がある。福島原発事故の分析・教訓とも重ね、徹底説明すべきである。また、使用済み核燃料処分の見通しもないままである。

原子力規制委員会がなんら歯止めとならず、住民の健康と生命を守るべき地方自治体であって「安全協定」を有する愛媛県や伊方町が、住民の安全を脅かす行為をとめようとしないことは、非難されるべき愚行である。

四国電力、国、愛媛県並びに伊方町は態度をあらため、伊方原発3号機への燃料装填を中止し、再稼働を断念すべきである。

2016年6月24日

伊方原発をとめる会